



X線・ガンマ線対応個人線量計

PM1630

取扱説明書



23.08 版

著作権

© 2023 Polimaster 著作権法で許可されている場合を除き、事前の書面による許可なしに複製、翻案、または翻訳することは禁止されています。

商標

Polimaster®、Polismart® は Polimaster の登録商標です。Android および Google Play は、Google LLC の商標です。Bluetooth® およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。その他の商標および商号は、それぞれの所有者の財産です。

製品の改善

製品の継続的な改善は、Polimaster およびその関連会社の方針です。すべての仕様、操作および保守手順は、製品の機能に実質的な影響を及ぼさない変更の対象となり、現在の操作マニュアルには記載されていない場合があります。

送信モジュール

PM1630 には送信機モジュール FCC ID: QOQ13 (IC: 5123A-13) が含まれています。



目次

1	概要	5
1.1	目的	5
1.2	動作環境	6
1.3	付属品.....	6
2	仕様	7
2.1	液晶画面の表示	9
2.2	付属品.....	10
3	個人線量計を使う前に	12
3.1	使用する前に	12
3.2	安全対策	12
3.3	充電残量	13
3.4	充電方法	14
3.5	電源の ON.....	15
3.6	電源の OFF	16
3.7	Bluetooth の ON.....	17
4	使い方	18
4.1	基本モードと画面メッセージ	18
4.2	画面メッセージ.....	19
5	線量率モード.....	20
5.1	線量率の警告	20
5.2	過負荷の表示	21
6	積算線量モード.....	22
6.1	積算線量の警告	22
6.2	過負荷の表示	23
7	スマートフォンとの接続.....	24
7.1	スマートフォン用のソフトウェア.....	25
7.1.1	iPhone 用アプリのインストール.....	25
7.1.2	Android アプリのインストール.....	25
7.2	Bluetooth の ON.....	26

7.3	接続	27
7.4	ペアリング PIN コード	28
7.5	PoliSmart ソフトウェアの基本構成	28
7.6	動作モードの切り替え	29
7.7	保存データの読込	30
7.8	ダッシュボード	31
7.8.1	ダッシュボードの設定	32
7.8.2	警告発動についての詳細設定	33
7.9	追跡	34
7.9.1	追跡の設定	35
7.10	履歴	36
7.11	地図	37
7.12	設定	38
7.12.1	アプリ設定	39
7.12.2	情報	39
7.12.3	デバイス	40
7.12.4	履歴	40
8	校正・点検・メンテナンス	41
8.1	機器に問題がある場合	42
9	仕様	43

1 概要

1.1 目的

個人線量計 PM1630 は、エネルギー補正タイプの GM 管検出器が搭載されています。そのため X 線からガンマ線(15keV~1.5MeV)までの幅広い放射線に対して個人被ばく線量を測定することができます。

X 線・ガンマ線用の個人線量計 PM1630 は次のように設計されています。

- 連続した X 線・ガンマ線、およびパルス X 線・ガンマ線の 1cm 個人線量当量率 $\dot{H}_p(10)$ の測定(線量率)
- 1cm 個人線量当量 $H_p(10)$ の測定(積算線量)
- 積算線量の積算時間
- 線量率、積算線量が、事前に設定された警告発動値を超えたときに警告ライトと警告音を発動
- 線量計の内蔵メモリに蓄積された情報を、Bluetooth 接続でスマートフォンやパソコンに転送

この個人線量計は、以下の場所で使用して個人の線量管理と放射線に対する安全性を確保することができます。

- 放射線レベルが人体にとって危険な場所
- 医療施設や病院、診療所の放射線部門や研究所

1.2 動作環境

線量計の動作環境は次のとおりです。

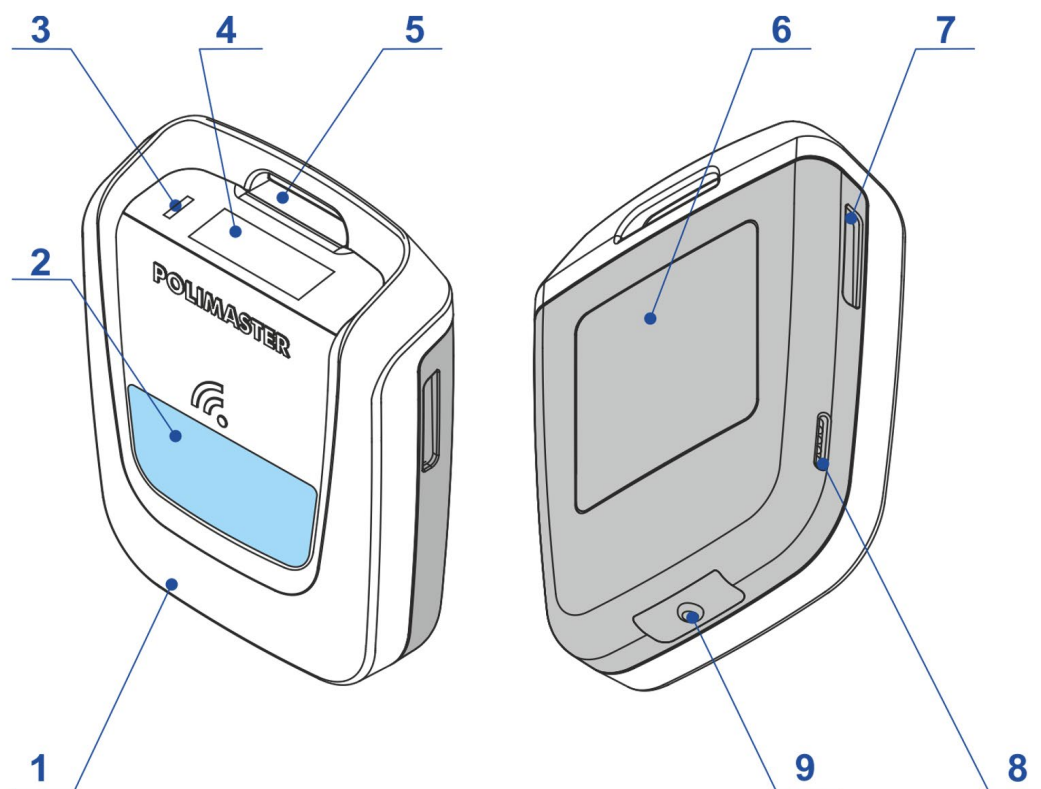
周囲温度	-10 度 から +50 度
相対湿度	98 %まで
大気圧	84 kPa から 106.7 kPa まで

1.3 付属品

1	線量計	
2	カラーステッカー	
3	ワイヤレス充電器	
線量計の付属品		
4	前面クリップ	
5	背面クリップ	
6	ワニ口クリップ	
説明書等		
7	取扱説明書(本書)	
8	校正証明書(英文)	
9	USB メモリ	

2 仕様

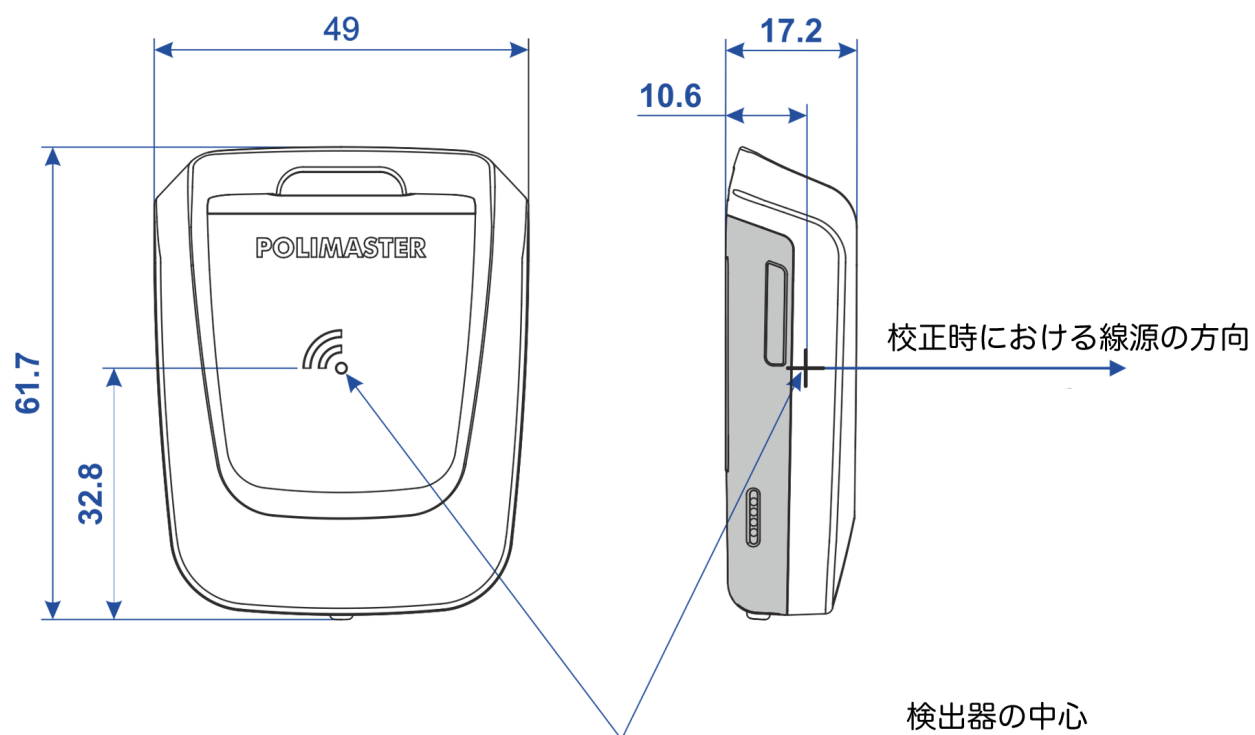
線量計のケースは耐衝撃プラスチック製です。各部分について示します。



1. 線量計本体
2. カラーステッカーの位置
3. LED 警告灯
4. 液晶画面
5. ワニ口クリップ用の穴
6. 製造元ラベル
7. 前面・背面クリップ用溝
8. 警告スピーカー
9. ボタン

カラーステッカーを使うことで色と氏名の記入で線量計を識別できます。

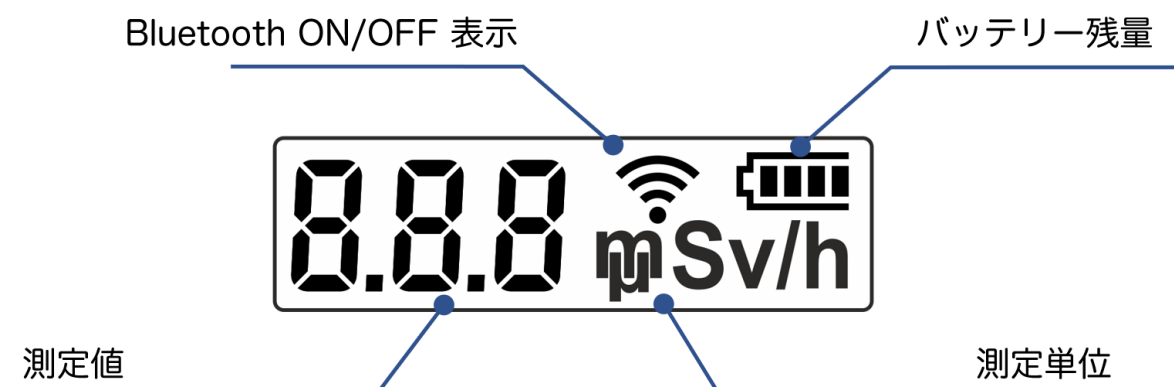
線量計の大きさ、放射線源の校正方向は、下図を参照してください。



2.1 液晶画面の表示

個人線量計は、線量率と積算線量を常に測定しており、測定値を切り替えて表示することができます。

液晶画面に表示される項目です。



事前に利用者が設定した警告発動値を超える線量率、または積算線量に到達すると警告ライトと警告音でユーザーに放射線量の警告をお知らせします。

個人線量計は内蔵された保存メモリが搭載されており、積算線量は電池がなくなった場合でも内部に保存記録されており失われません。

保存されたデータは、Bluetooth 経由で線量計からスマートフォンやパソコンに転送できます。

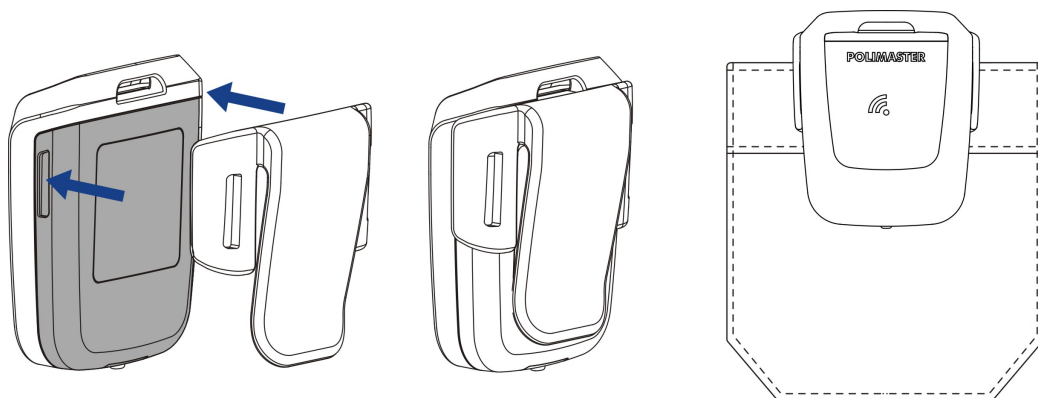
2.2 付属品

線量計は身体の様々な部分に装着できるように設計されており、付属品を使用することでしっかりと固定できます。

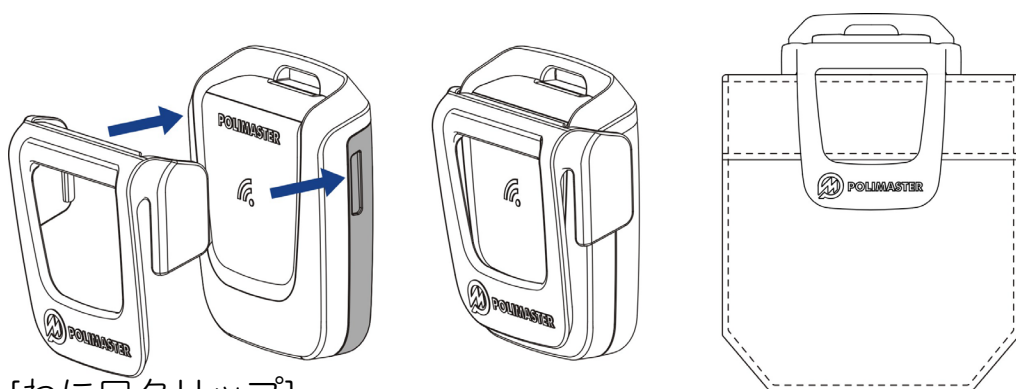
- 背面クリップ
- 前面クリップ
- わに口クリップ

装着オプションに関係なく、線量計のラベル面を体に向けて装着してください。線量計のラベルに[BODY SIDE]と記載されています。

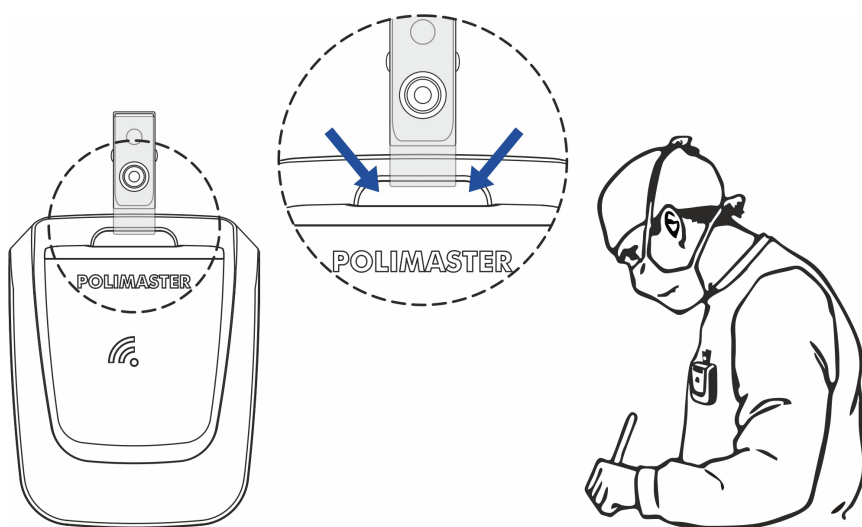
[背面クリップ]



[前面クリップ]



[わに口クリップ]



3 個人線量計を使う前に

3.1 使用する前に

- ・ 個人線量計を使う前に取扱説明書に目を通してください
- ・ 付属品の内容を確認してください (p.6)
- ・ 個人線量計を充電してください (p.14)
- ・ 測定器をスマートフォンと接続してください。接続することで、線量計内部の日付と時刻が自動的に正しい時刻に調整されます。(p.24)
- ・ 線量率、積算線量に対する警告発動値を設定してください。(p.33)

3.2 安全対策

個人線量計の損傷を防ぐため、腐食剤・有機溶剤・火元の近くでは使わないでください。

放射性物質および線源の取り扱いに関する法律を確認し、放射線の安全要件を再確認してください。

個人線量計は毎年メーカーで校正を行ってください。

3.3 充電残量

線量計は、充電式です。充電には、ワイヤレス充電器を使用します。



初めて線量計を使用する時は、ワイヤレス充電器でバッテリーをフル充電してください。初回の充電時間は4時間以上が必要です。通常の使用時の充電時間は2時間です。

バッテリーの充電を完全に切らすことは避けてください。

充電レベルのアイコンは、画面の右上隅に表示されます。充電が完全になくなると充電レベルのアイコンが空の表示となり、線量計は赤ライトが点灯し、警告音が作動して約1分後に画面がオフになります。この場合、線量計を速やかに充電してください。

バッテリー切れの表示	画面	ライト	音
		[赤] 	連続した音

3.4 充電方法

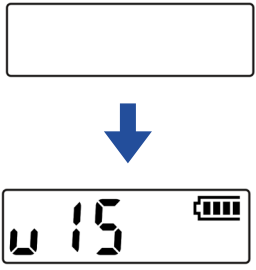
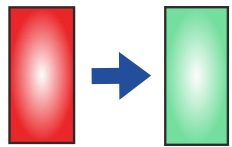
1. ワイヤレス充電器の USB ケーブルをパソコンまたは電源に接続します。
2. 線量計を下図のように置いてください。
3. 線量計の LED が赤色に変わります。
4. 赤 LED ライトが消えるまで充電してください。
平均充電時間は 2 時間です。



充電が完全になると、線量計の内部の日付と時刻の設定が失われます。充電後に線量計をスマートフォンと接続してください。接続することで日付・時刻が正しい値に自動的に調整されます。

3.5 電源の ON

1. 線量計の電源を入れるには、底部のボタンを長押ししてください。
2. 線量計の赤ライトが点灯します。
3. 次に緑ライトになり、線量計の電源が入ります。
4. 線量計は自己テストを実行して故障箇所がないか診断を行います。
5. 液晶画面には、ファームウェアのバージョンを表示します。

ボタン操作	画面	ライト	音
長押しする		[赤]⇒[緑] 	短い警告音

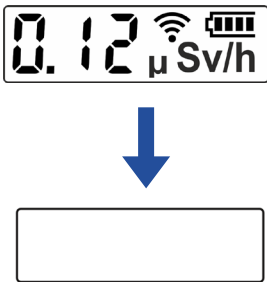
線量計を単体で胸ポケットに入れて使う場合には、この方法で電源を入れてください。この場合には Bluetooth 接続は OFF で電源が入ります。

もしスマートフォンと接続する場合には、(p.17)を参考して電源を入れてください。

3.6 電源の OFF

線量計の電源を切るには、底部のボタンを長押しします。

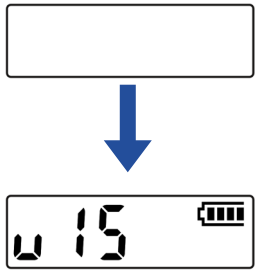
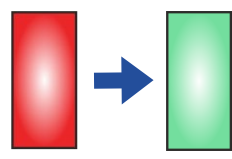
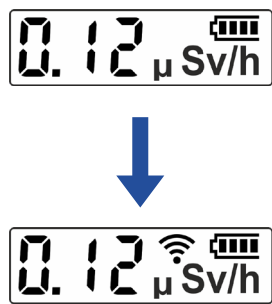
1. 線量計の赤ライトが点灯します。
2. 短い警告音が鳴ります。
3. 電源が切れます。

ボタン操作	画面	ライト	音
長押しする		[赤] 	短い警告音

3.7 Bluetooth の ON

スマートフォンと線量計を接続して使う場合には、Bluetooth 接続を ON にする必要があります。Bluetooth を ON にするには、電源を入れるときに青色ライトが点灯するまでボタンを長押ししてください。

1. 線量計が OFF の状態で底部のボタンを長押ししてください。
2. 緑ライトが点灯しますが、さらに続けて長押ししてください。
3. 青ライトが点灯します。
4. これで Bluetooth が ON の状態で線量計が起動します。
5. 線量計は自動的に線量率モードに切り替わります。

ボタン操作	画面	ライト	音
長押しする		[赤]⇒[緑] 	短い警告音
長押しする		[青] 	短い警告音

4 使い方

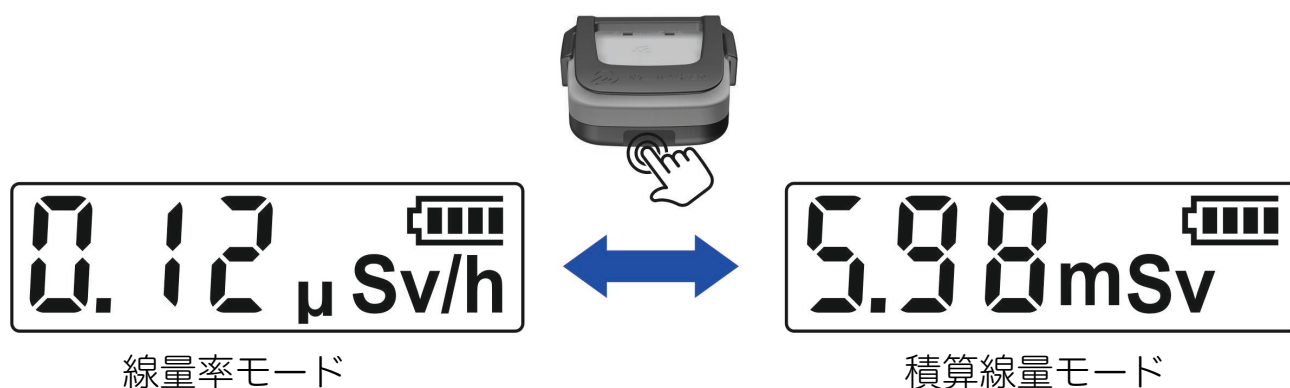
線量計は操作のためのボタンが一つだけあります。

線量計の動作中にボタンを短く押すと、線量率と積算線量が交互に表示されます。

それ以外の設定についてはすべてスマートフォンと接続して行う必要があります。スマートフォンと接続する場合には、こちら(3.7 Bluetooth の ON p.17)をみて Bluetooth を ON にしてください。

4.1 基本モードと画面メッセージ

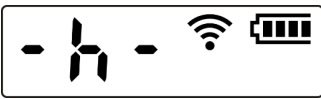
線量計には「線量率モード」「積算線量モード」の2つの基本モードがあります。2つのモードを切り替えるには、ボタンを押してください。



どちらのモードで利用しても線量計は、内部で線量率、積算線量の測定を常に行っています。ただし線量計の内部メモリに保存された測定履歴をモバイル機器またはパソコンに転送する時間は除きます。

4.2 画面メッセージ

線量計の画面に表示されるメッセージの一覧です。

画面メッセージ	説明
	ファームウェアのバージョン番号です。 修理の時に番号をメールでお伝えください。
 	警告の発動中 事前に設定した線量率や積算線量の警告発動値を超過している状態です。 AL1：警告 1 段階目を超過 AL2：警告 2 段階目を超過
	過負荷 線量率や積算線量の表示範囲を超える放射線量が検出されています。積算線量の場合には、0 にリセットしてください。
	バッテリー切れです
	モバイル機器やパソコンに接続したときに履歴を転送中です。この間は測定していません。
	エラー 線量計は故障しています。購入した販売店に修理を相談してください。

5 線量率モード



線量率モードでは、測定単位 Sv/h になります。

ボタンを短く押すと、線量率⇄積算線量の表示が切り替わります。

5.1 線量率の警告

線量率に対する警告発動値は、2段階で設定できます。線量率に対して低めと高めの値を設定しておくことで、注意すべき線量率、警告としての線量率の2段階で警告を発動させることができます。

線量率	画面	ライト	警告音
1段階目の 警告発動値を超過	The screen displays 'AL 1' with a wireless signal icon and a battery icon, followed by 'μSv/h'. Below this, a blue double-headed vertical arrow points to a second display showing '6.38' with the same icons and 'μSv/h'.	[赤] A solid red vertical rectangle.	警告音が鳴る
2段階目の 警告発動値を超過	The screen displays 'AL 2' with a wireless signal icon and a battery icon, followed by 'mSv/h'. Below this, a blue double-headed vertical arrow points to a second display showing '5.10' with the same icons and 'mSv/h'.	[赤] A solid red vertical rectangle.	頻繁に 警告音が鳴る

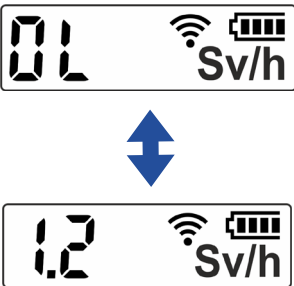
警告音を消すには、ボタンを押します。

線量率が警告発動値を下回った場合、または新しく高い警告発動値が設定された場合、警告音は自動的に消えます。

警告が発動されると発動した時間や線量率などの情報が線量計の内部メモリに記録されます。これらの記録を確認するには、スマートフォンと接続してPoliSmart アプリから確認してください。

5.2 過負荷の表示

線量率の表示範囲を超えると、線量計は OL (過負荷) と 1.2 Sv/h を交互に表示し、断続的な警告音と共に赤色の警告灯でお知らせします。

	画面	ライト	警告音
測定された線量率が線量率の表示範囲を超えた場合		[赤] 	警告音が鳴る

なお、線量率が 10 Sv/h の放射線に短時間 (10 分間) さらされた後でも、線量計は使用可能です。高線量に長時間さらした状態にすると線量計の寿命が短くなり最終的には修理が必要となります。

6 積算線量モード

5.98mSv 

積算線量モードでは、これまでの累積での被ばく線量を表示します。

何か活動始める前に積算線量をリセットして活動終了後に数値を見ることで活動中の総被ばく量を知ることができます。リセットがすぐにできない場合には、活動開始前後の値を引き算することでも同等の結果を得ることができます。

6.1 積算線量の警告

積算線量に対する警告発動値は、2段階で設定できます。積算線量に対して低めと高めの値を設定しておくことで、注意すべき積算線量、警告としての積算線量の2段階で警告を発動させることができます。

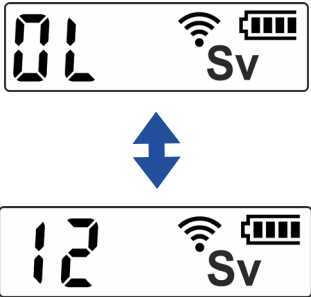
積算線量	画面	ライト	警告音
1段階目の 警告発動値を超過	 ↕ 	[赤] 	警告音が鳴る
2段階目の 警告発動値を超過	 ↕ 	[赤] 	頻繁に 警告音が鳴る

警告音を消すには、ボタンを押します。

線量率が警告発動値を下回った場合、または新しく高い警告発動値が設定された場合、警告音は自動的に消えます。

6.2 過負荷の表示

積算線量の表示範囲を超えると、線量計は OL (過負荷) と 12.0 Sv を交互に表示し、警告音と共に赤ライトでお知らせします。

	画面	ライト	警告音
		[赤] 	警告音が鳴る

7 スマートフォンとの接続

線量計とスマートフォンは、Bluetooth 無線接続により通信を行うことができます。スマートフォン上のソフトウェア PoliSmart を使うことで、線量計の設定を変更することができます。利用できるスマートフォンは、Android と iPhone です。どちらも Bluetooth 4.0 以上の接続が必要になります。

設定できる項目は、こちらです。

線量率の警告発動値	0.1 $\mu\text{Sv/h}$ から 1.0 Sv/h の範囲から 2 段階
積算線量の警告発動値	1.0 μSv から 10.0 Sv の範囲から 2 段階
積算線量と線量率の警告	有効 / 無効
警告ライト、警告音	有効 / 無効
警告音の音量と周波数	
コントロールボタンの操作音	有効 / 無効
接続デバイスの日付、時刻を同期	
線量計の履歴	消去
線量計の履歴記録モード	線形または周回
履歴の記録間隔	1 分から 18 時間
積算線量のリセット	
線量率測定の再スタート	
線量率表示から積算線量表示への自動切り替	有効 / 無効



変更が行われると、線量計は警告音と青ライトでお知らせします。

7.1 スマートフォン用のソフトウェア

iPhone、Android のソフトウェアの名前は、「polismart」です。この名前で検索してアプリをダウンロードしてください。



Polismart 4+
Polimaster Inc.
iPad対応
無料

スマートフォンのアプリのダウンロード方法は、それぞれのスマートフォンの使い方を参考にしてください。

7.1.1 iPhone 用アプリのインストール

1. iPhone®で AppStore を開きます。
2. 検索行に「polismart」と入力してプログラムを検索します。
3. polismart をダウンロードしてインストールしてください。

7.1.2 Android アプリのインストール

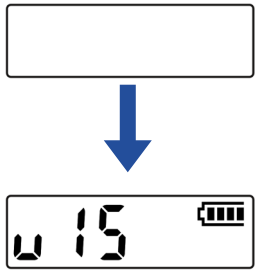
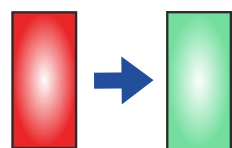
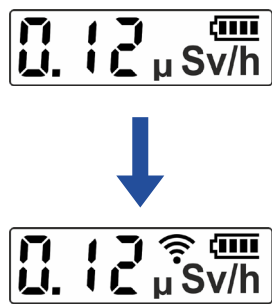
1. スマートフォンで Google Play を開きます。
2. 検索行に「polismart」と入力してプログラムを検索します。
3. 「インストール」ボタンをクリックして polismart モバイルアプリケーションをダウンロードします。

ホーム画面またはメインメニューの icon をタップして、アプリを開いてください。

7.2 Bluetooth の ON

スマートフォンと線量計を接続して使う場合には、Bluetooth 接続を ON にする必要があります。Bluetooth を ON にするには、電源を入れるときに青色ライトが点灯するまでボタンを長押ししてください。

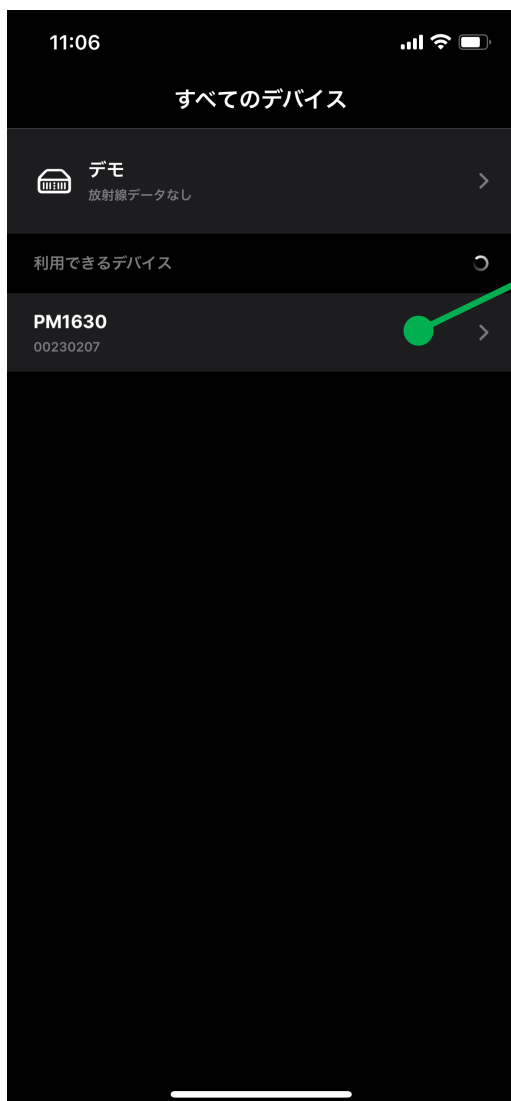
1. 線量計が OFF の状態で底部のボタンを長押ししてください。
2. 緑ライトが点灯しますが、さらに続けて長押ししてください。
3. 青ライトが点灯します。
4. これで Bluetooth が ON の状態で線量計が起動します。
5. 線量計は自動的に線量率モードに切り替わります。

ボタン操作	画面	ライト	音
長押しする		[赤]⇒[緑] 	短い警告音
長押しする		[青] 	短い警告音

7.3 接続

スマートフォンと線量計を接続するには、必ず線量計側の Bluetooth 接続が ON になっている必要があります。

1. 線量計の Bluetooth 接続を ON にします(p.26)
2. スマートフォンアプリ Polismart  を起動します。
3. 画面から測定器名をタップします。



接続できる線量計の型番
シリアル番号が表示されます。
タップすると接続が開始されます。

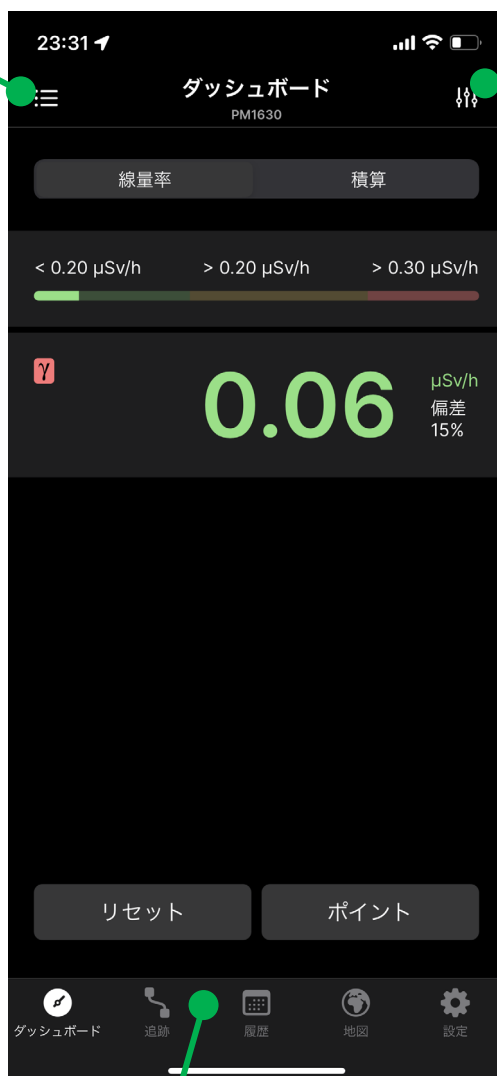
7.4 ペアリング PIN コード



線量計とスマートフォンを初めて接続するとき、ペアリングの PIN コードを尋ねられることがあります。この場合は、線量計のシリアルナンバーの最後の 6 桁を入力してください。シリアル番号は、測定器のシールに記載されています。

7.5 PoliSmart ソフトウェアの基本構成

Bluetooth 接続の設定

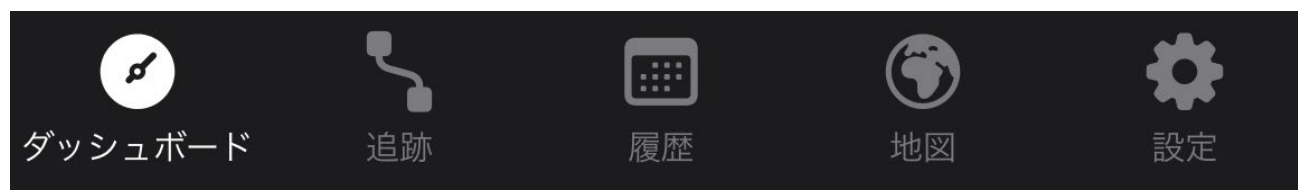


表示された画面の設定
右上のアイコンは常に
設定になります

主要な動作モードがアイコンとして
下に並んでいます。ここで動作を切り替えます。

7.6 動作モードの切り替え

PoliSmart アプリの下には、機能がアイコンとして並んでいます。



タップすることでモードを切り替えることができます。

ダッシュボード	- リアルタイムで線量計の測定値の表示が見えるモードです - 線量率と積算線量を切り替えることができます。 - 積算線量を0にリセットできます。 - 線量率と積算線量の警告発動値の設定を変更できます。
追跡	- スマートフォン内蔵の GPS 位置情報を使い利用者が移動したポイントごとに測定値を記録して測定マップを作成。 - 測定値の記録間隔は設定によって移動距離ごと、時間ごとに記録することが可能。
履歴	- 線量計の内部にある保存メモリ内のデータを表示 - 測定マップのデータを表示 - 測定中に保存したデータを表示
地図	これまでの地図上に記録したデータをまとめて表示
設定	- ソフトウェアの設定 - 線量計内部にある保存メモリ内のデータを読み込み開始

7.7 保存データの読込

線量計内部に保存された履歴データを読み込むには、動作モードの切り替えアイコン（下部）から[設定]をタップし[履歴の読込]を選択します。



履歴読み込み中は、警告ライトが点灯し画面表示が -h- の表示になります。この状態は測定が停止しています。



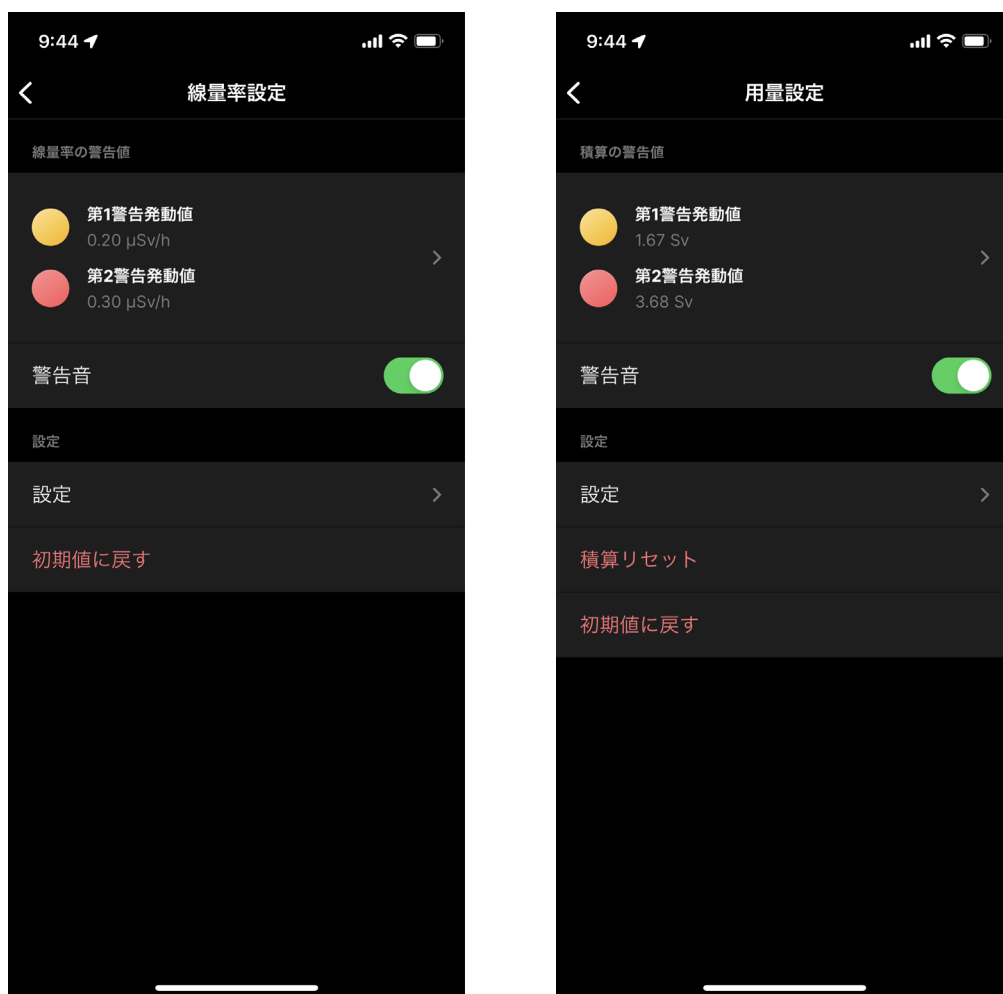
7.8 ダッシュボード

動作モードの切り替えアイコン（下部）から[ダッシュボード]をタップします。ダッシュボードは現在の測定値を表示する基本モードです。



主要な動作モードがアイコンとして
下に並んでいます。ここで動作を切り替えます。

7.8.1 ダッシュボードの設定



第 1,2 の警告発動値の設定	線量計本体の警告発動値を設定できます。
警告音	有効 / 無効
設定	警告発動についての詳細な設定です（次ページ）
初期値に戻す	警告発動値などを初期値に戻します。
積算リセット	積算線量を 0 にリセットします。

7.8.2 警告発動についての詳細設定



周波数	警告音の音の周波数を設定（1000 Hz から 10000 Hz ）
音量	警告音の音量を設定(0 から 100)
ライト	警告灯の ON/OFF を設定
積算モード	線量計本体で線量率の表示に切り替えた場合に 10 秒経過後に自動的に積算線量モードに戻る設定
サウンドボタン	線量計本体のボタンを押したときに 1 回音が鳴る設定
第 1 第 2 警告発動値	警告が発動を有効・無効にする設定
積算線量の第 1 第 2 警告値	積算線量の警告発動値に達するか、超過したときの警告灯の有効または無効の設定

7.9 追跡

動作モードの切り替えアイコン（下部）から[追跡]をタップします。追跡は測定値を地図上に記録するモードです。測定しながら歩いて行くだけで簡単に測定マップを作ることができます。

常に設定は右上から開くことができます



追跡モードの
設定です。

測定地図の作成開始。

記録を停止するときもこのボタンです。

7.9.1 追跡の設定

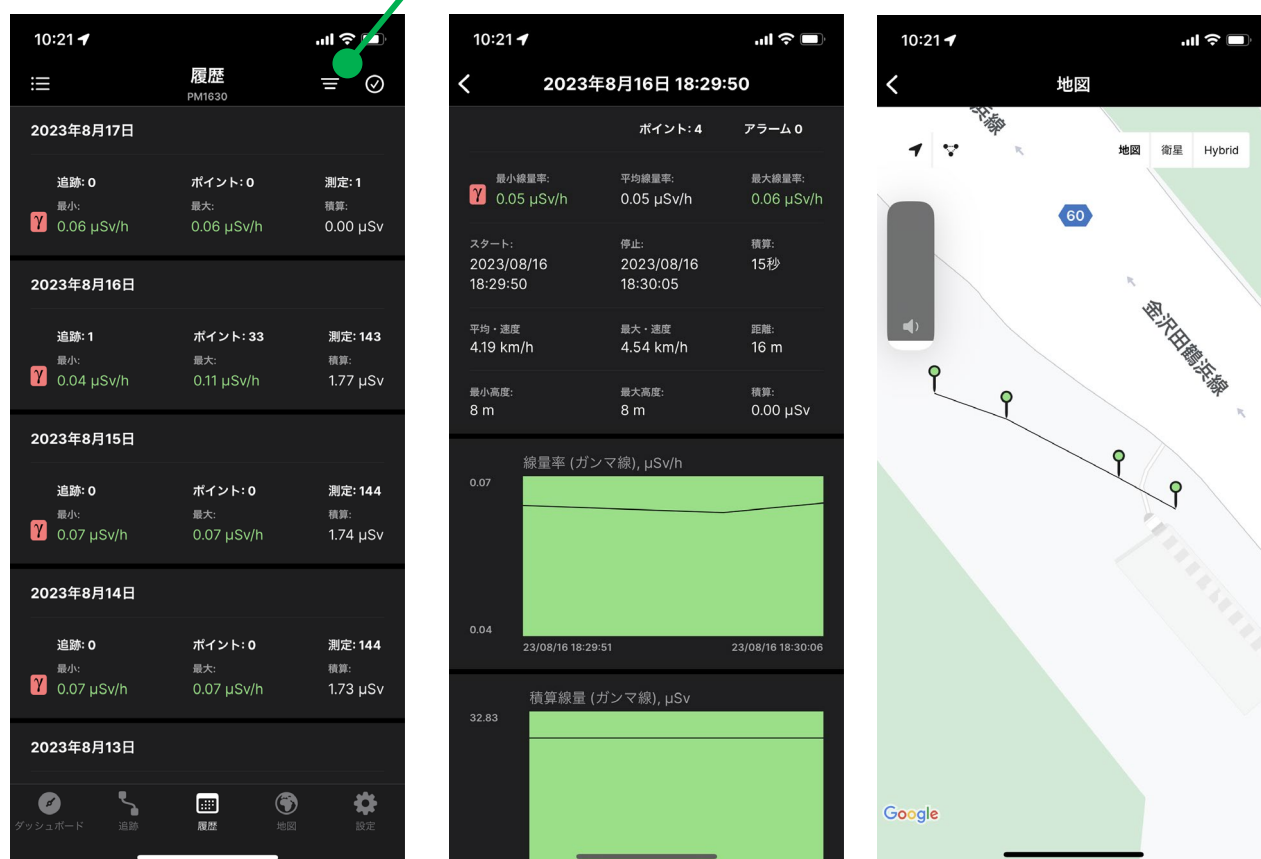
距離周期 (m)	設定した距離を移動するごとに地図上に記録を残します。
時間周期	設定した時間が経過するごとに地図上に記録を残します。
第 1 警告値の発動	警告の発動を記録します。
第 2 警告値の発動	警告の発動を記録します。
線量率の設定を使う	線量計本体で設定した線量率の警告発動値を使って記録します。
警告音	追跡中の警告音の ON/OFF

7.10 履歴

履歴では、3つのデータを見ることができます。

追跡	追跡モードで作成した地図上にマッピングされたデータ
ポイント	スマートフォンを操作中に保存したデータ
測定	線量計内部の保存メモリに保存されたデータを表示します。保存メモリのデータは(7.7 保存データの読込 p.30)の手順で読み込む必要があります。

表示データ範囲を選択フィルタできます



履歴データの表示方法は時系列順、グラフ、地図(追跡)の表示方法があります。また履歴データはメール等に添付することでスマートフォンからデータとして取り出すことができます。

7.11 地図

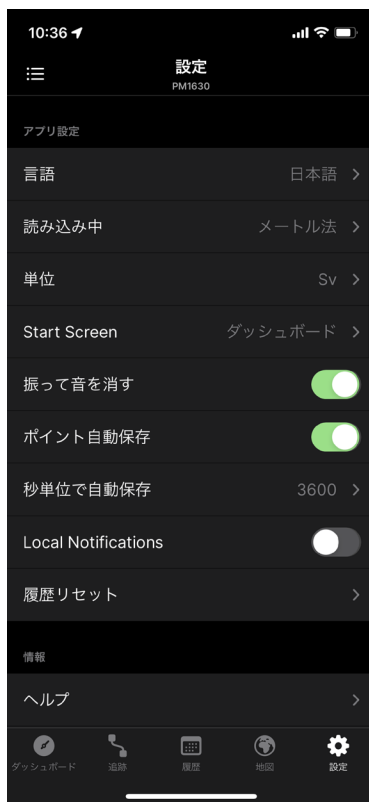
地図は、追跡で測定したデータを重ねて、まとめて地図として見るモードです。複数回に分けて測定したデータを一つの地図で見ることができます。

表示データ範囲を選択フィルタできます



7.12 設定

PoliSmart ソフトウェアの設定と、測定器本体の内部メモリに保存されたデータの読込を行う画面です。



7.12.1 アプリ設定

言語	アプリの言語の切り替え
距離単位	距離の記録方法の選択（ヤード・マイル）または（メートル）
測定単位	測定ユニットを「R（レントゲン）」または「S（シーベルト）」から選択してください。
開始画面	アプリの開始画面で表示されるモード
振って音を消す	警告音が鳴っている時にスマホを振ると音が消えます。
ポイントの自動保存	一定時間ごとに測定値を自動保存します
自動保存期間 (秒)	自動保存の時間間隔です。
通知	アプリがスマホの画面に通知を出します
履歴のリセット	スマホに保存されている履歴データをすべて削除します。

7.12.2 情報

ヘルプ	Polismart アプリの基本モードと機能の簡単な説明
契約と条件	ソフトウェアを使用するための使用許諾契約
バージョン	インストールされているソフトウェアのバージョン
バグ報告	製造元のテクニカルサポートサービスに報告を送信

7.12.3 デバイス

型番	接続中の測定器の型番
シリアル番号	接続中の測定器のシリアル番号
ハード	接続中の測定器のハードウェア番号
ファームウェア	接続中の測定器の内部ファームウェア番号
電池	現在の充電量、電池残量
測定器を工場出荷時設定に戻す	すべての設定を工場出荷時に戻します。

7.12.4 履歴

履歴の自動読み込み	履歴モードの起動時に、線量計の内部メモリにあるデータを自動的にスマホにダウンロードします。ダウンロードには時間がかかるためこの設定はOFFにして手動でダウンロードする方法がおすすめです。
同期後に履歴を消去	スマホにデータをコピーしたら測定器本体の内部メモリを空にします。
記録モード	線量計の履歴記録タイプを次の2つから選択します。 ・ 周回 (新しいデータを古いデータに上書きする) ・ 線形 (最大記録数に達するまで記録)
記録間隔	線量計の履歴記録間隔を設定します。記録間隔の範囲は1分から18時間です (推奨間隔 1 時間以上)。
履歴の読み込み	線量計の内部メモリにあるデータをスマホへダウンロードします。

8 校正・点検・メンテナンス

線量計は、1年に1回の校正・点検が必要です。正しい放射線量を維持するために定期的に点検を行ってください。

Polimaster カスタマーセンター

たろうまる株式会社

〒920-8203

石川県金沢市鞍月 5-177 AUBE2

TEL:076-201-8806

FAX:076-201-8624

support@taroumaru.jp

8.1 機器に問題がある場合

次の表に、考えられる問題とその解決策を示します。

問題	考えられる原因	解決策
線量計の電源が入らない	バッテリーが消耗しています	バッテリーを充電します
警告音が鳴らない	警告音が無効になっています スピーカーが故障しています	スマホと接続して警告を有効にしてください。 修理を依頼してください
画面に Er が表示される	検出器が故障しています	修理を依頼してください

9 仕様

線量率の表示範囲	0.01 μSv/h ~ 1.2 Sv/h
線量率の測定範囲	0.1 μSv/h ~1.0 Sv/h
線量率の測定精度	±15 %
積算線量の表示範囲	0.01 μSv ~12 Sv
積算線量の測定範囲	1 μSv ~10 Sv
積算線量の測定精度	±15 %
パルス X 線の最小パルス間隔	2 ミリ秒
エネルギー範囲	0.015 MeV ~1.5 MeV
0.662 MeV (¹³⁷ Cs)へのエネルギー依存性	-29 % ~45 %
確率(0.95)での線量率測定時の誤差	±10 %
積算線量および線量率測定中の許容追加相対誤差の限度	$\pm \left(20 + 100 / \sqrt{n \cdot t_{pulse}} \right), \%$ n はパルス数 t_{pulse} はパルス間隔, ミリ秒
ガンマ線の測定中	
-10~ 50 度に変化する周辺温度	±10 %
35 度で 98%の相対湿度	±10 %
正常値から極端な値に変化する電源電圧	±10 %
800 A/m の磁場の影響	±10 %
高周波電磁場の影響	±10 %

線量計が初期位置に対して指定された角度で水平面および垂直面に露出された場合、各エネルギー値に対する線量計の異方性 (δ_α) は、以下の表に示されている値を超えません。

目盛方向に対する検出角度	ガンマ線のエネルギー, MeV					
	異方性, (δ_α %)					
	垂直面の被ばく			水平面の被ばく		
	0.059	0.662	1.25	0.059	0.662	1.25
0	0	0	0	0	0	0
15	±20	±10	±10	±20	±10	±10
30	±20	±10	±10	±10	±10	±10
45	±20	±15	±15	±15	±15	±15
60	±20	±15	±15	±25	±15	±15
-15	±20	±10	±5	±15	±10	±10
-30	±20	±10	±10	±15	±10	±10
-45	±20	±15	±15	±15	±15	±15
-60	-10/+40	±15	±15	±25	±15	±15

履歴	6000 件 (ファイル)
起動時間	60 秒
電源	充電可能バッテリー、180 mAh
モバイル機器やパソコンとの通信	Bluetooth

耐性	・ 5Hz ～ 35Hz の周波数範囲内の正弦波振動と、0.75 mm の送信周波数よりも低い周波数のシフト振幅 ・ 100 m/s² のピーク加速度、2 ミリ秒から 50 ミリ秒の衝撃持続時間、毎分 60～ 180 の衝撃頻度の衝撃 ・ 磁場 800 A/m、機能基準 A ・ 8 kV の静電気中放電、機能基準 B
バッテリー寿命	・ Bluetooth 不使用 平均線量率が最大 0.3 μSv/h で約 2 ヶ月
	・ Bluetooth 使用時 平均線量率が最大 0.3 μSv/h で約 10 日
IP 規格	IP67
操作状況 ・ 温度 ・ 湿度 ・ 大気圧	-10 度～50 度 35 度 98 %まで 84 kPa ～106.7 kPa
落下試験	1.5 m からの落下試験
電波干渉レベル	EN 55022 (B クラス)
重さ	50g 以下
大きさ	63 mm × 50 mm × 18 mm
寿命	10 年以上